

人生の最終段階における医療とケアの

話し合いのプロセス

十分な
情報提供

本人の意思が
確認できる

本人の意思が
確認できない

い、本人が意思決定を行います
本人と医療従事者と十分に話し合

家族が本人の意思
を推定できる

家族が本人の意思を
推定できない
または家族がない

本人の希望を推定し、最善の
治療方針をとります

医療・ケアチームが（家族と）
相談しながら、本人にとって
最善の治療方針を判断します

人生の最終段階における医療とケアの方針決定



安芸市地域包括支援センター「ひまわり」の

ご案内

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていけるように、地域の様々な職種の方々と連携して在宅医療介護の支援を行っています。



介護のことで困っていること、悩んでいることなどがありましたらまずはご相談ください。



安芸市地域包括支援センターひまわり
(安芸市役所内)

〒784-8501 安芸市矢ノ丸1丁目4-40

電話：0887-32-0555

FAX：0887-35-1555

メール：simin03@city.aki.lg.jp

相談受付時間：平日8:30~17:15

(土、日祝祭日、年末年始を除く)



H30年2月作成

私のリビングウィル

～最期まで自分らしく生きるために～



「リビングウィル（生前の意思）」

人生の最終段階（回復の見込みがなく、やがて死を迎える段階）における医療を選ぶとき、医師などからどんな治療の選択肢があり、それによりどのようなことが予測されるかなどの説明を受け、それをもとに本人と医療従事者が話し合いを行って決定することが基本です。ただし、本人の意思が確認できない場合は、家族や医療従事者が最善の治療方針を決めていくことになります。だからこそ、医療について事前に考えておき、希望や思いをリビングウィル（生前の意思）として伝えておくことが大切になります。

安芸市

